

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2018.07.No251

7月号

目次

第43回 一般社団法人 北海道建築士会 全道大会(土別大会) “集え! 最北インターチェンジのまちへ”……1
青年・女性の窓……………6 [青年委員会]
Coffee Break……………7
information……………8

URL <http://www.h-ab.com/>

第43回 一般社団法人 北海道建築士会全道大会(土別大会) “集え! 最北インターチェンジのまちへ”

■大会テーマ 「未来へつなぐ 天塩の流れ 人と大地の躍動」

■サブテーマ ～水とみどりの里で 未来を語ろう 北の建築士!～



第43回 一般社団法人北海道建築士会全道大会実行委員長

土別支部 支部長 土岐 浩二

本大会は、平成の最後を締めくくるといふ節目の大会として、土別支部において初めて開催されることとなりました。

土別支部は「土別市」「剣淵町」「和寒町」の1市2町で組織され、本年4月に設立45年を迎えました。しかし、道内他支部と同様に会員の減少が続き、現会員数は44名と設立時の半分以下の小規模支部となっています。

そんな状況下での全道大会開催の決断は、我々支部にとって大きな不安と共に始まりましたが、本部のご指導や、道北ブロック各支部のご協力のもと、無事に開催を迎えることになりました。

土別地方は、明治32年に開拓の鋤が下ろされて以来、“^{さくほく}朔北の大河”である天塩川や剣淵川沿いに広がる肥沃な大地を中心に、稲作を始めとする農業が基幹産業の地域で、「サフォークランド・土別」「絵本の里・剣淵」「自然の恵み野・和寒」をキーワードとしてそれぞれ個性をもったまちづくりを進めています。

隣の幌加内町朱鞠内に隠れて目立ちませんが、昨冬は累積8.5mの降雪があり、気温が-30度にせまる日も複数日ありながら、夏は30度を超えるという我々建築士にとって厳しい設計条件の地方です。しかし、開催される10月はとても過ごしやすく、秋の紅葉を感じながらお越しください。

“最北インターチェンジのまち・土別”で手つかずの自然がお迎えます。

我々建築士を取り巻く社会情勢はめまぐるしい変化の中にありますが、会員の資質向上、建築士の未来について、そして建築士相互の絆をさらに深めるため、自然の中で大いに語り合ひましょう。

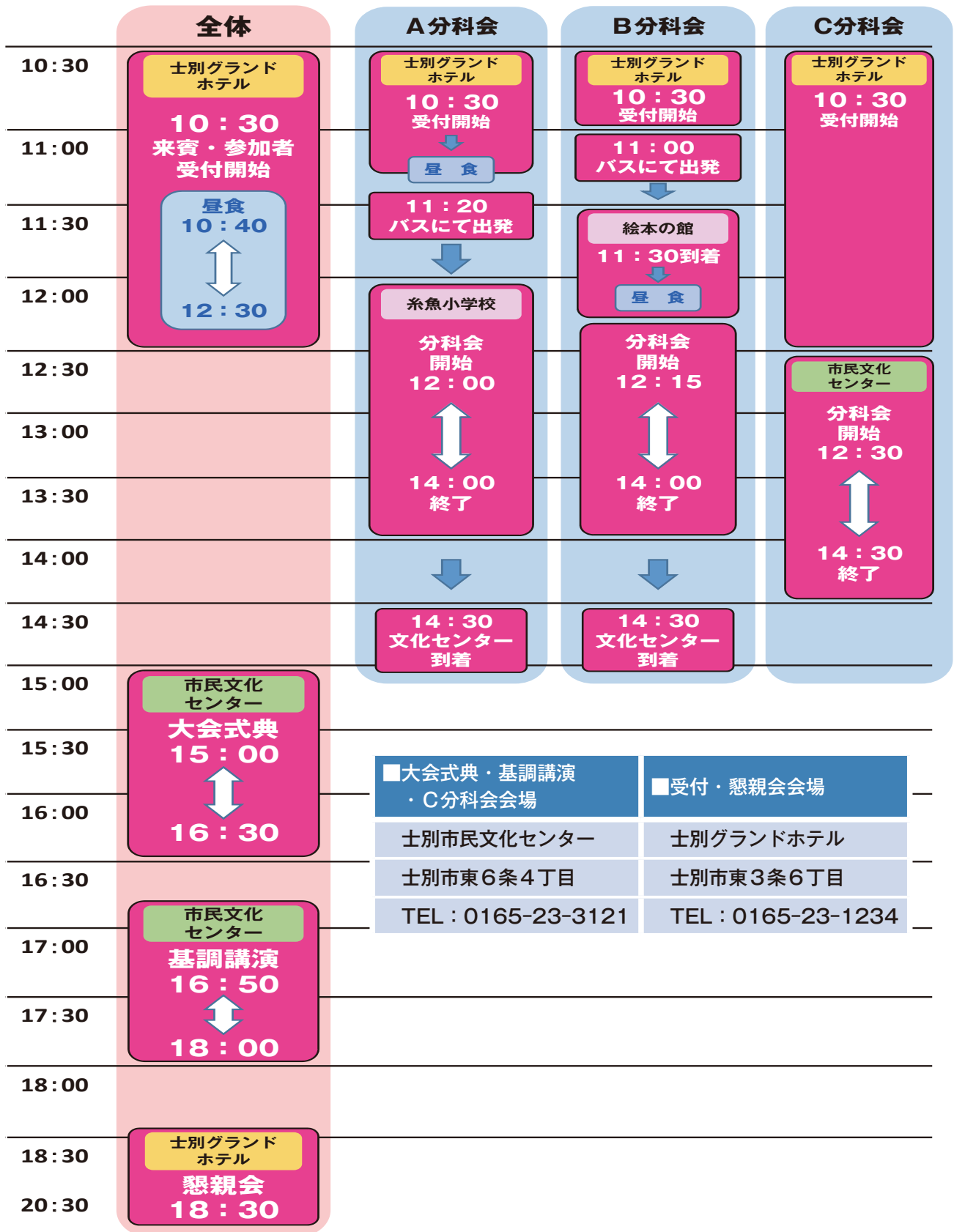
是非とも多くの皆様にお越しいただけるよう心からお待ち申し上げます。

[大会プログラム]

月日	時間	開催内容	会場
10月5日 (金)	17:30～	各ホテルから送迎バス移動	「羊飼いの家」
	18:00～20:00	青年サミット 『広げる・深めるサミット』	
10月6日 (土)	10:30～12:00	来賓・大会参加者受付開始	土別グランドホテル
	10:40～12:30	昼食 (B分科会は除く)	土別グランドホテル 絵本の館 (B分科会参加者のみ)
	11:20～14:30	分科会 A分科会 (女性委員会)	朝日: 糸魚小学校 (11:20バス出発) 剣淵: 絵本の館 (11:00バス出発) 土別市民文化センター 研修室
	11:00～14:30	B分科会 (まちづくり委員会)	
	12:30～14:30	C分科会 (青年委員会)	
	15:00～16:30	大会式典	土別市民文化センター 大ホール
16:50～18:00	基調講演	土別市民文化センター 大ホール	
18:30～20:30	懇親会	土別グランドホテル 瑞雲の間	

主なスケジュール

分科会ごとに開始時間・バス出発時間・昼食時間が異なります。A分科会及びB分科会は、大会参加受付後に分科会受付が必要です。また、参加者は全員バスで各分科会会場へ移動していただきます。



分科会 分科会会場での受付はいたしませんので、ご注意ください。

A分科会 未来へはばたく力を育てる～子どもと地域と学校建築～

女性委員会

学校建築は、子どもたちが、最も多感な時期の大半を過ごす場であり、学習の場であるとともに、人間形成の場でもあります。

又、地域コミュニティの場としても重要な役割を担っています。

A分科会では、「少人数校ならではの開放的な学習空間」「自然光を活用した明るくあたたかい多目的スペース」「日常的に目にふれる部分への地場産材の活用」などが特徴の、朝日町糸魚小学校を会場に、この学校がどのような視点で設計され、子どもたちがどのような日常を過ごしているのかを知る機会にしたいと考えています。

子どもと同じ空間体験をしながら、地域の特性を活かした、魅力ある学びの場について意見交換したいと思います。

受付場所（士別グランドホテル） 受付開始 10：30 バス出発 11：20 分科会開始 12：00

昼食を申し込まれた方は、バス出発までに「士別グランドホテル」で昼食をおとりください。

B分科会 マチの知名度アップから学ぶ!! 未来へつなぐまちづくり

まちづくり委員会

「サフォークのまち」の士別、「絵本の里」の剣淵、「全日本玉入れ選手権」の和寒。士別支部を構成する1市2町はマチの特色を自らつくり上げ、知名度アップにつなげています。こういった活動は、地理的条件や歴史的背景に依存しないポジティブなまちづくり例として、全道どこの市町村でも参考にできるのではないのでしょうか。

B分科会では、「絵本の里」の拠点であり、公共建築優秀賞を受賞した「剣淵絵本の館」を会場とし、1市2町それぞれのマチの知名度アップに貢献された方々から、そのきっかけ、現在に至る道のりや苦労などのお話を伺うとともに、参加者も交えながら意見交換を行い、未来へつなぐまちづくりビジョンについて語り合いたいと思います。

受付場所（士別グランドホテル） 受付開始 10：30 バス出発 11：00 分科会開始 12：15

昼食を申し込まれた方は、「絵本の館」到着後にお弁当をお渡ししますので、分科会開始までに昼食をおとりください。

C分科会 北の大地で技術開発～士別の大地で試される世界品質

青年委員会

四季のはっきりした内陸性気候の士別市は、冬の気温が-30℃になり、積雪は平地でも1m、山間部では2mを超えるなど豪雪寒冷地帯であることから、世界的タイヤメーカーの試験場や、自動車メーカーの試験コースが設置され、冬の厳しい寒さを利用した寒冷地試験等が盛んに行われる、「試験研究のまち」です。

C分科会では、士別市内に自動車テストコースを管理・運営し、国内外自動車・タイヤ・部品メーカーの開発試験向けに賃貸業務を行う「(株)交通科学総合研究所」の方を講師にお招きして、テストコース設立の経緯や、士別の大地で行われている試験・研究など、建築にも相通じる興味深い講演を聞き、学びたいと思います。

受付場所（士別グランドホテル） 受付開始 12：00 分科会開始 12：30

昼食を申し込まれた方は、受付会場の「士別グランドホテル」にて昼食をおとりください。

**情報委員会は今年も号外を発行！
大会の様子のアレやこれや、サムライ士別でズバっと斬り込みます！**

【応急危険度判定・机上訓練体験コーナー】随時受付！

今年から、建築士会で開催する「北海道建築士会応急危険度判定士認定講習会・机上訓練」が認定講習となりました！

そこで今回は、体験版の **ミニペーパー机上訓練** を実施いたします。(所用時間 30分)
各行事の空き時間などを利用して、「いざというとき」のために体験してみませんか！

実施場所 (10：30～12：30) 「士別グランドホテル」
(12：30～15：00) 「士別市民文化センター」

(CPD単位 1単位)

【被災地応急支援委員会】

基調講演 テーマ：『トヨタの環境技術戦略並びに水素社会の実現に向けて』

講師：トヨタ自動車(株) チーフエンジニア 田中 義和 (たなか よしかず 1961年8月6日生)



地球温暖化や環境汚染、石油など化石燃料の枯渇が心配される中、クルマが100年後も、人々に役立ち、感動を与えられる存在であり続けるためには、エネルギーのあり方、クルマのありようが、今まで以上に大きく問われてきます。

そんな大きな課題にトヨタが出した答えが「水素を燃料に走る燃料電池自動車 (FCV)」です。

高い効率、ガソリン車に匹敵する航続距離、短い充填時間、走行中の排出物は水のみ。まさに「究極のエコカー」と呼べる非常にポテンシャルの高い環境技術が盛り込まれています。

そんな、自動車の次の100年のために、水素エネルギー社会実現の先駆者となる世界初の量産FCV「MIRAI」が、2014年12月に発売開始となりました。

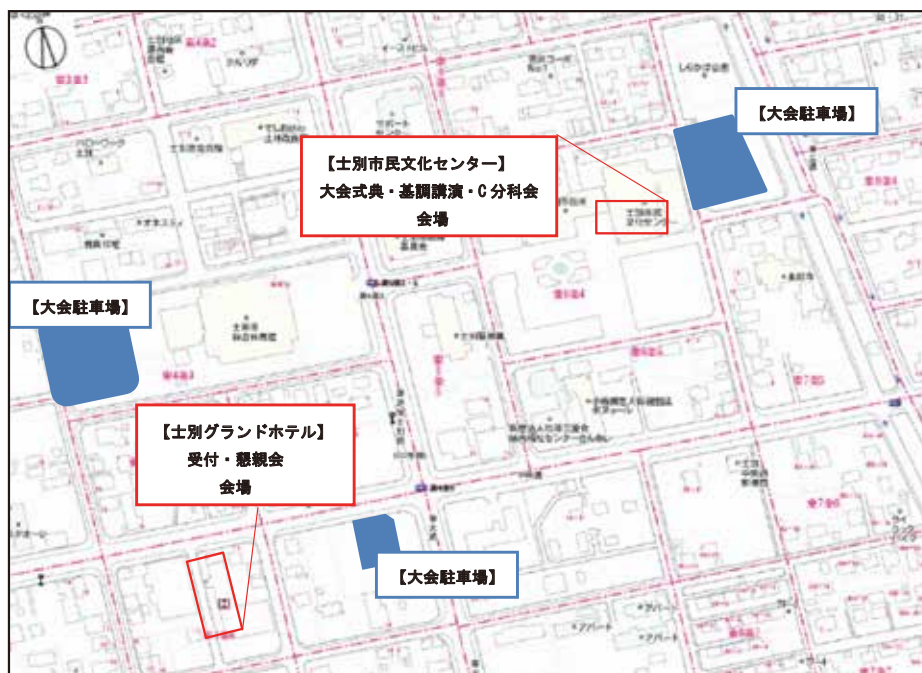
すぐれた環境性能はもとより、そのこだわりは、一目でFCVとわかる未来感のあるデザイン、乗って楽しく、まるで水の上を滑るような新しい感覚で走る異次元の走行フィール、ずっと乗っていたくなるようなクルマに仕上がっています。

そんなこれまでにない新しい価値を提供できるクルマ「MIRAI」の設計・開発の責任者として現場の指揮を執り続けたのは、プリウスPHVの開発責任者も務めた製品企画本部チーフエンジニア 田中義和氏。

トヨタエコカーの最先端の開発を続ける田中氏が、長いチャレンジともいえるFCV普及に想う持続可能な社会への貢献、そしてその一翼を担う「MIRAI」の環境性能を語ります。

「駐車場」等のご案内

◆下記の駐車場は無料です。また、大会期間中は夜間・翌日も駐車可能です。



下記の宿泊施設は、大会当日及び翌日のバスの送迎がありますので、市内の駐車場に駐車したままで宿泊施設へ移動することが可能です。

◆バス運行

大会当日：懇親会会場 ⇒ 各宿泊施設 大会翌日：各宿泊施設 ⇒ 士別市内

◆宿泊施設名

士別Inn翠月 ・ホテル美し乃湯温泉 ・レークサイド桜岡 ・和が舎

※送迎についての詳細は、各ホテルにお問合せください。

ただし、「和が舎」については、士別支部へお問合せをお願いいたします。

第43回全道大会（士別大会）会場ご案内



【宿泊施設のご案内】 ※各自で直接宿泊施設にお問合せ・お申込をお願いします。

番号	施設名	TEL 市外局番 (0165)	料金 (朝食付税込)	収容 人員	番号	施設名	TEL 市外局番 (0165)	料金 (朝食付税込)	収容 人員
1	士別Inn翠月	29-2233	6,270円～	89人	8	末次旅館	23-2534	4,428円～	22人
2	ホテル美し乃湯温泉	29-2611	6,480円～ カプセル 4,104円～	142人 (カプセル舎)	9	はとや旅館	23-2292	5,400円～	25人
3	士別市 サイクリングターミナル	22-3822	5,150円～	41人	10	甲州屋旅館	23-2064	6,480円～	45人
4	ファームイン入 (ラムダ)	22-4545	6,600円～	24人	11	池田屋旅館	23-2336	5,184円～	27人
5	レークサイド桜岡	34-3100	6,500円～	86人	12	旅館まるいし	23-3571	5,400円～	36人
6	和が舎 (わがや)	28-2339	5,660円～	20人	13	六美旅館	23-3427	4,860円～	25人
7	金子旅館	23-2013	5,184円～	25人		士別グランドホテル	23-1234	6,800円～	60人

※宿泊施設の所在地は上記の案内図に表記している番号でご確認ください。